



日

Library news

野

2021年11月1日

図書館



朝の読書週間終わる！



期間中、何冊読めましたか？



新刊案内

みんなからのリクエストで入った本もあるよ！

知っているようで知らない我が町のこと

『滋賀のトリセツ』

昭文社



琵琶湖をめぐる地形の秘密、信長と秀吉の城と足跡、日本屈指の住みやすさ…。滋賀県の地形・地質、歴史、産業・文化など多彩な特徴と魅力を地図で紹介。知られているようで知られていない滋賀県の意外な素顔に迫る。

『オールカラー楽しく覚える!都道府県』

長谷川 康男/監修 ナツメ社



自然・環境、産業、歴史・伝統・文化、伝統工芸…。47 都道府県の特色、気候や特徴を、マンガや写真、大きな地図で解説。楽しみながら知識が身につく「都道府県クイズ」も掲載。切り取って使う「別冊 都道府県カード」付き。

『近江の平城』

高田 徹/著 サンライズ出版

滋賀県内には平地に築かれた平城、平地に隣接して築かれた城郭が相当数ある。滋賀県内の 40 の平地城館の遺構や見どころを、縄張り図や写真とともに解説する。アクセス情報も掲載。



『キャラ絵で学ぶ!都道府県図鑑』

伊藤 賀一/監修 すばる舎

都道府県の地形を、特産品や行事のイラストで表したご当地キャラ絵で紹介。各都道府県のシンボル、基本データ、見どころや特産品、おもしろ方言などの情報を掲載する。各都道府県に関するクイズも収録。



『蒲生氏郷伝説』

振角 卓哉/著 サンライズ出版

信長に絶賛され、秀吉に従い、松坂、会津城主となるも、40 歳で亡くなった蒲生氏郷。鯨尾兜、日野・松坂・会津の町割、日野鉄砲など、同時代の史料の事績を検証し、氏郷の通史を著すとともに、彼の伝説とその根拠に迫る。



『4 コマ漫画で読む湖南省の史跡と伝説』

ロビンやすお/編 サンライズ出版

奈良時代から現代に至るまで、常に交通の要所として発展し続けてきた滋賀県湖南省。湖南省に残る古刹や宿場町などの史跡や伝説を 4 コマ漫画で紹介する。



中高生のための学部選びガイド

『国際学部』

『農学部』

『経済学部』

ペリカン社

学部で学ぶことやキャンパスライフ、卒業後の進路などを、実際の取材をもとに、わかりやすく説明する



文学の分野によろこそ！

『英文学教授が教えたがる名作の英語』

阿部 公彦/著 文藝春秋

本物の英語に触れよう！「ロビンソン・クルーソー」「ガリヴァー旅行記」「高慢と偏見」「黒猫」などの名作から抜粋した原文、訳文、語彙や文法の基礎的な解説、読みどころの説明を収録する。



『140字の文豪たち』

川島 幸希/著 秀明大学出版会

「ら抜き言葉」は太宰治も使っていた、萩原朔太郎の詩に宮沢賢治は…。文豪たちの知られざる言葉とエピソードを、史実にもとづいて紹介する。近代文学研究者で古書コレクターによる「初版道」名義の文学ツイートを書籍化。



『学校では教えてくれないゆかいな漢字の話』

今野 真二/著 河出書房新社

「四月一日」という苗字は何と読む？部首って、そもそも何？難読漢字や漢字のつくりを楽しく解説。夏目漱石の誤字をはじめとする歴史上のエピソードや、漢字を使って遊ぶことのヒントになる話も紹介する。



『文豪と俳句』

岸本 尚毅/著 集英社

文豪たちの俳句はどこか違う。かなり違う…。尾崎紅葉から川上弘美まで、近現代の小説家が詠んだ摩訶不思議で奥深い俳句の数々を、芭蕉や虚子といった俳人の名句と比較しながら詳細に読み解く。



『なりきり訳枕草子』

清少納言/著 淡交社

平安のブログとも呼べる「枕草子」の、千年のギャップを埋める新訳。清少納言になりきった現代語訳と、当時の衣食住や政治に関する豆知識で、まるでタイムスリップしたみたいに読める。



『文豪妖怪名作選』

東 雅夫/著 東京創元社

文豪たちの綴る様々な妖怪物語を集めたアンソロジー。尾崎紅葉「鬼桃太郎」、泉鏡花「天守物語」、宮澤賢治「ざしき童子のはなし」、芥川龍之介「貉」、室生犀星「天狗」など全19篇を収録する。



『みとりねこ』

有川 ひろ/著 講談社

猫の浩太は、一家の長男・浩美と生まれたときからずっと一緒。いつも醤油にひたした肉球で、テーブルクロスにハンコをペタペタ。そのわけは…。表題作をはじめ、旅猫リポート外伝「ハチジカン」など猫をめぐる全7編を収録。



『新謎解きはディナーのあとで』

東川 篤哉/著 小学館

警視庁に栄転した風祭警部は、大きなミスをして国立署に舞い戻る。麗子の後輩に新人の若宮愛里が加わり、新メンバーで難事件に挑むが…。毒舌執事・影山の推理が冴えわたる本格ミステリ。



芸術の秋

芸術関係の本が入りました

『社会を変えた50人の女性アーティストたち』レイチェル・イグノトフスキー/著 創元社

女性が芸術作品を創り出すことが当たり前ではない時代があった。常識や古い価値観にしばられず、自分自身を自由に力強く表現した世界の50人の女性アーティストを、チャーミングなイラストとともに紹介する。

『イラストで読むルネサンスの巨匠たち』杉全 美帆子/著 河出書房新社

ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、ラファエロ…。ルネサンスの芸術家たちと同時期に生きたヴァザーリによる伝記から選んだ、巨匠たちの抱腹絶倒エピソードをイラストで楽しく紹介する。作品の解説も充実。

『楽器から見る吹奏楽の世界』佐伯 茂樹著 河出書房新社

楽器を知れば吹奏楽はもっと楽しくなる！クラリネット、トロンボーン、サクソフォン…。多種多様な楽器を通して、吹奏楽、ブラスバンド、マーチングバンドの魅力や歴史に迫る。楽器にまつわるQ&Aも収録。

『教科書にでてくる音楽家の伝記』講談社

ベートーヴェンからリスト、ラフマニノフまで、音楽家たちのドラマティックな生涯を、時代背景がイメージできる美しい挿絵とともに描く。「ステージのひみつ」「ピアノができるまで」などのコラムも充実。



目を向けよう！いざ、世界へ！

『世界のグルメ図鑑』

地球の歩き方

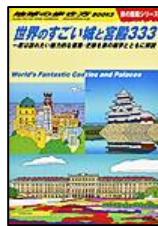
アジアからヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、オセアニアまで、世界各地の名物料理を食の雑学やコラムとともに紹介。本場の味を体験できるレストランや食材を購入できるショップ、レシピも掲載。



『世界のすごい城と宮殿 333』

地球の歩き方

世界遺産に登録されている美しい宮殿や城塞都市、映画の舞台になった城などを写真とともに紹介。必見ポイント、アクセス情報、観光アドバイス、耳寄り情報なども掲載。



『世界のすごい巨像』

地球の歩き方

世界のあちこちでさまざまな人々が色々な意図を持って立ち上げてきた、魅力的な巨像たちを紹介。像が立てられたいきさつ、具体的な見学方法、周辺の見どころなどを解説する。



『一度読んだら絶対に忘れない世界史人物事典』

山崎 圭一/著 SBクリエイティブ

世界史に登場する主要人物 233 人が、一度読むだけで頭に残る“画期的”人物事典。人物に関する短い経歴と、その人物の生涯や歴史的な役割を浮き彫りにする「イチオシ」のエピソードを掲載する。



『一冊でわかるスペイン史』

永田 智成/編著 河出書房新社

属州ヒスパニア、レコンキスタ、カトリック両王、米西戦争、スペイン内戦、17の自治州、二大政党制…。スペインの歴史を、イラストや地図を交えてわかりやすく解説する。コラム「そのころ、日本では？」も掲載。



『一冊でわかるトルコ史』

関 眞興/著 河出書房新社

ヒットイト、セルジューク朝、オスマン帝国、スルタン=カリフ制、青年トルコ革命、6本の矢…。トルコの歴史を、イラストや地図を交えてわかりやすく解説する。コラム「そのころ、日本では？」も掲載。



『世界のふしぎなことわざ図鑑』

北村 孝一/著 KADOKAWA

猫に小判、急がば回れ…。短い文なのに、聞く人の注意をひきつける「ことわざ」。80の日本の主なことわざを解説するとともに、内容の似ている世界のことわざをそれぞれ3つずつ集め、その国の言葉で示し、説明を付す。



『世界の奇習と奇祭』

E.リード・ロス/著 原書房

赤ん坊に唾を吐き、蟻に噛まれて「大人」になり、マグロもヤギも赤ん坊まで投げまくる！世界各地に残る嘘のような伝統行事、理解不能の風習、過激な祭り、そして愉快な馬鹿騒ぎの数々をユーモアある筆致で紹介。



『武器ではなく命の水をおくりたい』

中村哲医師の生き方』

宮田 律/著 平凡社

2019年12月、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたり、パキスタンとアフガニスタンで人道支援にあたった生涯をたどりながら、その生き方、考え方を伝える。



『世界ピクト図鑑』

児山 啓一/著 ビー・エヌ・エヌ

サインデザインの専門家が集めた、世界26か国80都市のピクトグラム約1000点を、項目別・国別に掲載。豊富なカラー写真とともにわかりやすく解説する。



『新型コロナウイルスに対する学校の感染対策』

武藤 義和/著 丸善

学校に特化した新型コロナウイルス感染症の対策本。「冬も窓は開けっぱなし?」「給食の時間はおしゃべり禁止?」「運動会や遠足はどうする?」など学校ならではの感染対策の疑問に、感染症専門医が丁寧に答える。



『しっかりわかるワクチンと免疫の基礎知識』

峰 宗太郎/監修 池田書店

ワクチンは感染症を予防する、非常に優れた医薬品。ワクチンの開発の歴史や仕組み、人類と免疫の闘い、癌とワクチン、新型コロナとワクチンなどについて、ウイルス免疫学者がわかりやすく解説する。



ワクワク・ドキドキ面白い本、入りました

『新・海辺を食べる図鑑』

向原 祥隆/写真と文 南方新社



初めての大人はもちろん子供でも簡単に見つけて獲れる、158種の海辺の食べ物を紹介。種類ごとに見つけ方、獲り方、下拵え、おいしい食べ方や保存方法を解説する。テングサ類等も加えた「海辺を食べる図鑑」の続編。

『日本カンパニーキャラ&シンボル大全』

辰巳出版



ポップでモダン、かわいくて懐かしい! 時代を超えて長く親しまれてきた、昭和生まれのカンパニーキャラ&シンボルたち。それらの誕生時のエピソードや歴代の変遷などを、カラー図版とともに紹介する。

『どっちがどっちまぎらわしい生きものたち』

梁井 貴史/著 さくら舎

ムササビとモモンガ、イモリとヤモリ、フナとコイ、バッタとイナゴ…。似て非なる生きものたちの違いを、わかりやすく解説。イノシシという名の魚など、まぎらわしい名前の生きものたちも紹介する。



『いちばんたのしい!みんなで遊べるゲーム67』

日東書院本社

おうち、公園、学校、どこでも、身のまわりのものですぐにできる! リズム感&瞬発力をきたえるゲームや、頭の体操になるゲームなど、楽しいレクリエーションゲーム67を紹介。



『やりすぎ深海いきもの図鑑』

宝島社



40メートルにもなる動物界最長のクラゲ、腸が体の外にあるホウキボシエソの仔魚、捕食時は悪魔になるクリオネ…。地球上でもっとも過酷な深海で生きるために“やりすぎ”な変化をしたい生きものたちをイラストで紹介する。

『ことばの言いかえ見るだけノート』

櫻井 弘/著 宝島社



無意識のうちに相手をイラ立たせる話し方をしていませんか? 相手に好印象を与える受け答えや依頼のことばなど、言い方をかえるだけで好感度を上げるフレーズをイラストと共にわかりやすく紹介。メールの書き方も取り上げる。

『誰かに話したくなる摩訶不思議な生きものたち』

岡部 聡/著 文藝春秋

人間の漁を手伝うブラジルのイルカ、子育てするアマゾンの古代魚ピラルクー…。「NHKスペシャル」「ダーウィンが来た!」などの名物TVマンガ、世界各地の現場で見て感じた、自然の中の生きものたちの物語を綴る。



『難読漢字の奥義書』

円満字 二郎/著 草思社

「白膠木」「特牛」「破落戸」「窈窕」全部読めますか? さまざまな難読漢字を取り上げ、その背景に見え隠れする漢字のしくみやその移り変わり、先人たちが漢字を使いこなすために編み出した知恵などを紹介します。



『身近な「鳥」の生きざま事典』

一日一種/著 SBクリエイティブ



カラスは大車輪をして「遊ぶ」、ハトのオスはメスに頭を下げて迫る…。家の周りを散歩するだけで見られる、可愛くもしたたかな鳥たちの生態を、イラストとともに紹介する。野鳥のトラブルを描いたマンガも収録。

『自由にはたらく副業アイデア事典』

中野 貴利人/著 SBクリエイティブ



忙しい人も、時間がある人も、できる副業が必ずある。9つのカテゴリに分けて100の職種を紹介。案件の単価やはじめ方、必要なスキルや成功させるコツ、その職業の良い点と残念な点、継続するためのアドバイスなどを示す。

『おうちで楽しむ科学実験図鑑』

尾嶋 好美/著 SBクリエイティブ

身近なものでできる、おもしろい実験が満載。写真映える実験や、動きから目が離せなくなる実験、変化がおもしろい実験などを写真とともに紹介する。



『数学ガールの物理ノート』

結城 浩/著 SBクリエイティブ

手を離したら、リンゴは落ちる。離れたリンゴは、なぜ落ちる? 「僕」と3人の少女が、楽しい物理トークを繰り広げながら、ニュートン力学の本質に迫る。

